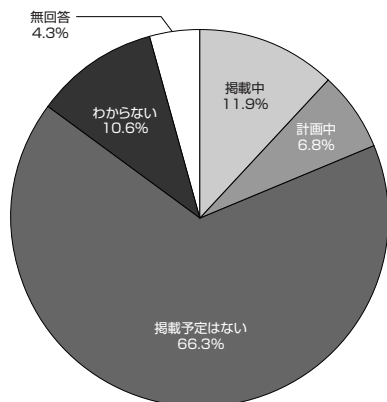


第4章 企業

インターネット広告

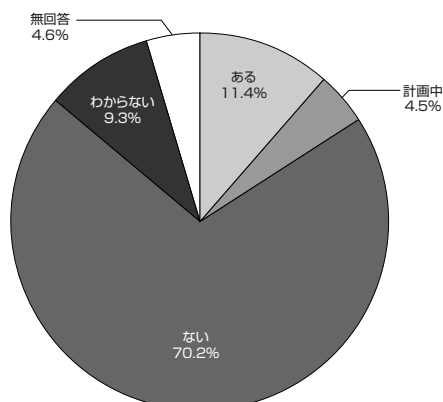
携帯向けが伸びるも広告予算は減少

資料1-4-58 自社ウェブサイトへの他社広告掲載の有無 N=1,432



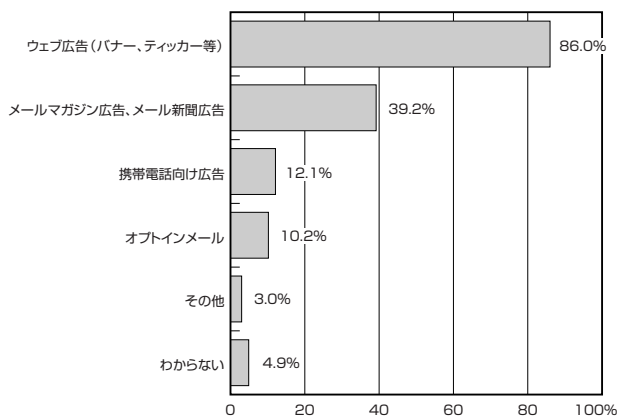
インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

資料1-4-59 インターネット広告出稿の有無 N=1,662



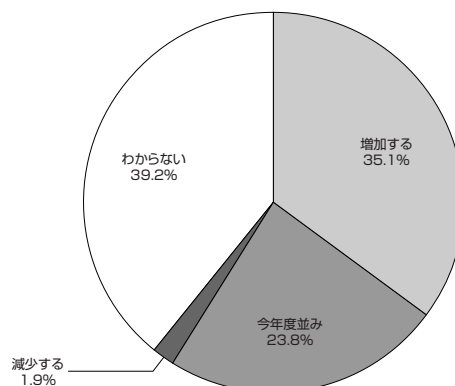
インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

資料1-4-60 出稿したインターネット広告の種類 N=265



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

資料1-4-61 今後の広告予算 N=265



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

解説

■ インターネット広告

昨年に引き続き、自社ウェブサイトを開業している企業に対して自社ウェブサイトへの他社広告掲載の有無を聞いたところ、現在掲載中が全体の約1割、計画中が6.8%みられた。これは昨年とほとんど変わらない。昨年までは掲載している企業の従業員規模が大きいほど掲載率が高かったが、今年は規模に依存しない掲載状況が生まれつつある。一方、上記とは逆のケースで、他社のウェブサイトへの広告出稿の有無についても毎年聞いている。自社ウェブサイトへの他社広告掲載率と

ほぼ同傾向となり、「出稿している」が11.4%、「計画中」が4.5%であった。また、出稿している広告の種類についても複数回答で聞いている。昨年57.0%だったバナーやティッカーといった「ウェブ広告」が今年は86.0%に大幅増加、「メールマガジン、メール新聞広告」も30.1%から39.2%に増加、昨年1.4%だった「携帯電話向け広告」は12.1%と飛躍的に伸びた。携帯電話という新たな利用機器の拡大により、複数の種類を出稿する併用率が昨年の平均1.23種類から1.56種類に増加しているのも今年の特徴といえる。

今年は選択肢に新しい電子メール広告の形態の1つで、あらかじめ受け取り側の許可を得た分野のみの広告や情報を送る「オプトインメール」を新たに追加した。こうした広告の形態は今後常に変化しながら増えていくことが予測される。広告出稿の際の年間予算は平均177.8万円で、昨年と比べて減少している。この広告予算については、今後「増加する」見通しの企業が35.1%、「今年度並み」が23.8%、「減少する」が1.9%と、ほぼ前向きな傾向が読み取れる。従業員規模別でみると今年100人未満の小規模企業で予算の



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp